

県立高等学校産業教育設備整備事業案件一覧

番号	学校名	設置装置名	新規 または 更新	所要額 (単位:円)
1	長浜北星	3次元造形学習実習装置	新規	7,400,000
2	長浜北星	レーザー加工機	更新	7,200,000
3	長浜北星	高電圧実習装置	更新	20,000,000
4	八幡工業	走査型電子顕微鏡システム	新規	14,850,000
5	八幡工業	蛍光X線分析システム	新規	11,980,000
6	八幡工業	原子吸光分析システム	更新	6,760,000
7	八幡工業	ガスクロマト分析システム	更新	9,400,000
8	八幡工業	イオンクロマト分析システム	更新	7,160,000
9	八幡工業	自動計測付高速旋盤	更新	11,500,000
10	八幡工業	自動計測付旋盤	更新	64,000,000
11	八幡工業	ファイバーレーザー加工機実習システム	新規	24,740,000
12	八幡工業	レーザー加工機実習システム	新規	11,980,000
13	八幡工業	走査型プローブ顕微鏡システム	新規	19,530,000
14	国際情報	XR及び映像システム実習装置	新規	15,100,000
15	国際情報	高性能機械加工機による遠隔CAMシステム	新規	32,200,000
16	国際情報	協働ロボット・マルチパーパスシステム	新規	55,300,000
17	国際情報	高性能マシニングセンター	更新	56,000,000
18	甲南	鶏舎用自動集糞装置	新規	15,000,000
19	安曇川	3Dスキャナー	新規	4,100,000
合 計				394,200,000

請 願 文 書 表

請 願 番 号	第 5 号	請 願 要 旨
受 理 年 月 日	令和3年6月29日	<p>【請願趣旨】 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い雇用状況が悪化する中、世帯の収入が減少している家庭の児童・生徒や、アルバイトができずに生活が困窮する生徒・学生も増えている。こうした経済状況の中、節約のために毎月の生活必需品である生理用品を購入することができず、「古着や新聞紙などで代用した」「交換する回数を減らした」「経血で服や椅子を汚すことが不安で登校できなくなった」などの実態が報告され、5人に1人の若者が「金銭的な理由で生理用品を買うのに苦労した」と生理の貧困が明らかになっている。</p> <p>こうした事態を受けて、政府も3月23日、新型コロナウイルス感染拡大の影響で困窮状態にある女性を支援するため、関連する交付金を拡充し、交付金の使途として生理用品の無料配布を加えている。全国的に、学校での生理用ナプキン無償配布の動きが広がっている。</p> <p>政府がまとめた第5次男女共同参画基本計画では、「生涯にわたる健康支援」として、特に女性の心身の状態は年代によって大きく変化する特性から「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の視点が重要視され、その中でも生涯にわたる健康の基盤となる心身を形成する10～20代前半の重要な時期に対して、月経を含めた保健の充実の推進が明記されている。その具体的な取組として、保健医療サービスの提供など、包括的な健康支援のための体制の構築が挙げられる中、経済的理由によって生理用品が十分に使えずに健康な生活が脅かされる状態は直ちに改善されるべきである。</p> <p>児童・生徒が安心して通学でき、生涯にわたって健康で衛生的な生活を保障されるために以下請願する。</p> <p>【請願事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒が安心して通学でき、健康で衛生的な生活を保障するために、学校施設の女子トイレに適切な返却不要の生理用品を設置すること ・養護教諭らに生理をはじめ心や体の悩みを気兼ねなく相談できる環境を整備すること
件 名	コロナ禍のもと、児童・生徒・学生の健康と学習権が守られるために、生理用品の学校配布と設置ならびに相談環境の整備を求めることについて	
請 願 者 住 氏 所 名	大津市京町2-4-5 新日本婦人の会 滋賀県本部 会長 橋本 典子	
紹 介 議 員	黄野瀬 明 子 松 本 利 寛 杉 本 敏 隆 節 木 三千代	
付 託 委 員 会	教育・文化スポーツ常任委員会	
審 査 結 果		

請 願 文 書 表

請 願 番 号	第 6 号	請 願 要 旨
受 理 年 月 日	令和3年6月30日	<p>【請願の趣旨および理由】</p> <p>平成18年に導入された「滋賀県の高校全県1学区制度」は、自由に選択できることを大きな利点として推進されてきたが、実際には塾と一体になった進学実績重視の高校選択で、一部の高校に志願者が殺到するなど、受験競争を激化させ、高校間格差を大きく広げる結果となっている。</p> <p>同時に、人口減少の湖北・湖西地域では、地域外の進学伝統校に成績上位者が流出し、地元地域の高校教育の活性化とは逆行する定員割れを起こし、学級減も招いている。</p> <p>県教育委員会では、こうした問題に「特色ある高校づくり」で問題解決を図ろうとされているが、それは、地元と一体になって創りあげてきた歴史や伝統の上に形成されるものではないか。</p> <p>全県1学区制度導入後の人口減少地域の衰退を考慮し、「地域の主権者、市民を育てる」という高校教育の原点に立ち返り、大多数の子どもたちが、地元の高校で豊かに学び成長でき、地域の活性化にもつながる高校受験制度・環境づくりを整備していただきたく、全県1学区制度の見直しをぜひともお願いする。</p> <p>【請願項目】</p> <p>県立高校全県1学区制度を見直すこと</p>
件 名	高校全県1学区制度の見直しについて	
請 願 者 住 所 氏 名	長浜市中山町6番地6号 湖北の高校教育を考える会 代表 高山 亨	
紹 介 議 員	黄野瀬 明子 杉本 敏隆 節 木 三千代	
付 託 委 員 会	教育・文化スポーツ常任委員会	
審 査 結 果		